



Rotary Club of SUGITO

杉戸ロータリークラブ週報

2006～2007年度 RIのテーマ

Lead the way

会長 仁部前明 幹事 下津谷忠男 会報委員長 田中昌夫

第1858回例会(2007年1月30日)

夜間例会 於 **和泉屋**

今年初めての夜間例会が行われ、恒例の結婚祝いの方々が招待されました。



中島会員も結婚祝いでしたが、奥様は欠席ですので戸賀崎会員と楽しい宴をしておりました。



結婚祝いの内田ご夫妻と大作ご夫妻です。
皆さん結婚して 年だそうです。



同じく結婚祝いの新井会員と武井会員ですが、
本日は他所の奥様と一緒にの記念撮影です。



スマイル報告

本日投入額 28,000円

累計額 611,000円

例会日： 火曜日 12:30～13:30 例会場： 埼玉りそな銀行杉戸支店 3F
事務所： 杉戸町杉戸 2-12-26 埼玉りそな銀行杉戸支店内
TEL 0480 - 34 - 1716 FAX 0480 - 34 - 1360

第1859回例会(2007年2月6日)

点鐘

仁部会長

ロータリーソング

君が代、奉仕の理想

四つのテスト唱和

篠原委員長

誕生祝、結婚祝い

細井委員長



2月の誕生祝は内田会員、田中会員、篠原会員です。結婚祝は中島会員、大作会員、内田会員です。おめでとうございます。

会長挨拶

仁部会長

体罰にあたらぬ事例について

教育再生会議が1月24日に安倍首相に提出された第一次報告書は、義務教育を中心とした初等中等教育に絞ったものである。ゆとり教育の見直しなど「7つの提言」と、体罰については、今年度中の見直しを求めた「4つの緊急対応」の内の1つである。

7つの提言

- ・ ゆとり教育を見直し、授業時間10%増加
- ・ いじめを繰り返す子供に出席停止措置
- ・ 高校での奉仕活動必修化
- ・ 不適格教員を教壇に立たせない
- ・ 第三者機関による学校の外部評価導入
- ・ 国、教育委員会、学校の役割分担明確化
- ・ 家庭、地域、企業での子供の教育にあたる

4つの緊急対応は以下のようである。

- ・ 体罰に関する通知の見直し
- ・ 教員免許法改正(教員免許更新制導入)
- ・ 地方教育行政法改正(教育委員会改革)
- ・ 学校教育法改正(学習指導要領改定など)

以上のまとめ方は、読売新聞1月25日朝刊による

*体罰にあたらぬ事例

別紙 2月3日読売新聞朝刊掲載

理事会報告

下津谷幹事

2月、3月のプログラムについて

2月27日 卓話(下津谷幹事)

3月27日 4月1日(三クラブ合同花見例会) 於 杉戸高野台

I・Mについて

2月17日(土)13:00登録開始

その他

- ・ 20周年記念に駅に寄贈した時計が壊れたので引き取り処分をした。
- ・ 拉致被害者家族義援金はクラブより10,000円寄付をすることで承認。
- ・ ローターアクトについては今後どうするか話し合いをすることで承認。
- ・ 読売センターが行っているチャリティーふれあい寄席に昨年同様の寄付をすることで承認。

幹事報告

下津谷幹事

2007年国際大会 飯野ガバナーご苦労さん会、中村靖治ガバナーエレクト激励会開催のご案内がきております。

2007年 米山奨学生「世話クラブ」の願いがきております。

危機管理に関するアンケート調査の願いがきております。

委員会報告

ロータリー財団委員会

落合委員長

中村会員にポール・ハリス・フェローの感謝状がきております。



米山奨学委員会

関口委員長

米山奨学委員会より感謝状やメダル等が届いておりますのでお渡しいたします。



雑誌紹介

落合会員

本来ならば庄司委員長が雑誌紹介をするはずでしたが、どうしても急用で来られないとのことで、付箋を貼ったロータリーの友を預かりましたので読ませていただきます。

まず、横の1PにはRI会長メッセージとしてチッタゴン大学の教授だったムハマド・ユヌス氏のこと書かれております。「竹製のいすを作っている女性と話をしているとき、ユヌス氏は彼女が米ドルでたった25セントの竹の原料を毎朝ツケで購入していることを知りました。一日分の手内職に使う竹の原料に支払わずかなお金にさえ不自由している彼女たちにとって、借金を返済することなど不可能に近いでしょう。彼女たちの借金の総額は？27米ドルだったのです。そのときユヌス氏がとった行動は彼にとってごく自然なことでした。彼は彼女らの負債を支払ったのです。新しい企業家たちは高利の借金から開放されたことでたちまち利益をあげ、彼が貸したお金は返済されました。こうしてマイクロクレジット（小口融資制度）は誕生したのです。そして、RI会長は恩恵をもたらすロータリーの仕事として「私たちは、単に学校に設備を贈るとか、医療を供給するとか、あるいは遠隔の地域社会の井戸掘りを手伝っているとだけ考えているかもしれませんが、でも本当のところ、私達がしているのは、より良く、より安定した、そして、より平和な未来を築くためのお手伝いなのです。」と書いています。

同じく横の35Pには、豊かな自然環境を次世代にということで「寄居町にトンボ公園を作る会」の記事がのっております。また、ガバナーわが地区自慢のコーナーでは第2570地区鈴木ガバナーが、新世代のための奉仕支援について書いております。「特に本年度は、高校生の社会力を育てる総合推進事業年として、行政府と協調のもと、自分発見、高校生感動体験活動プログラムを実施。地区職業奉仕部門が主体となり、各クラブの協力により高校生が5日間の就労体験を行い、学ぶ目的を実社会で体験させる活動で、成果を挙げています。」

縦の12～13p「卓話の泉」には《感染症最近の話題》として大阪府赤十字血液センターの谷さんが次のように書いております。

「スペインかぜの場合、1918～19年にかけて全世界的に猛威を振るい、感染者6億人、死者は4000万～5000万人に及んだ、とも言われています。スペインかぜのような感染症の広がり方には、人の行動範囲と移動時間がかかわってきます。しかし、現在では航空機などの交通手段の発達により、世界各国の距離は昔に比べ、格段に縮まっています。従って、近年大流行した高病原性鳥インフルエンザや西ナイル熱、地球温暖化の影響などで、流行地域の拡大が心配されるマラリア・デング熱など、感染症は対岸の火事ではありません。HIVについては、世界の先進国では感染防止対策が功を奏し減少傾向にあります。日本ではいまだに増加していることから、日本人の無関心さや危機感が薄いことがうかがわれます。明日、どこかで患者が発生して、感染が一気に広がるかもしれない状況を日本は迎えているのです。」

出席報告

大作委員長

出席免除 2名、休会 2名

月日	会員数	出席	欠席	MU	出席率
2/6	24	19	5	0	79%

スマイル報告

大作委員長

仁部会長 温暖化の促進は人間が関わっていると聞き、驚きました。この土地で梅が咲くのはおかしいですよ。

黒岩会員 本当に暖かい冬ですが、地球はこれからどうなってしまうんでしょうかね。

落合会員 今年は暖冬で北極と南極の氷が溶けて日本沈没しないかなー！！

渡辺孝会員 2月とは思えない暖かさです。冬はどこに行ってしまったのでしょうか？

篠原会員 今日はドア当番を忘れてしまって、迷惑をお掛けしました。体罰を受けたいと思います。他、14名

本日投入額 19,000円

累計額 630,000円